

藝文協だより

第210号

平成22年11月
社)富山県芸術文化協会
〒930-0096 富山市舟橋北町7-1
県教育文化会館内
☎(076)441-8635(内線123)

遼寧バレエ・田中秀子バレエ合同公演

—とやま舞台芸術祭2010—



8月25日(水)と26日(木)の2日間、県教育文化会館にて「とやま舞台芸術祭2010 遼寧バレエ学校・田中秀子バレエ研究所合同公演」(プロフィール・利田みさき)を開催しました。

公演に先立ち富山の生徒たちは8月4日(水)から遼寧バレエ学校で研修を行い、14日(土)にはまず瀋陽市で第1回目の合同公演が行われました(2P掲載)。続く富山での本公演は遼寧省文学芸術界連合会の崔凱副主席も来富され、国内外の注目のもと行われました。

中国遼寧省・瀋陽市の遼寧バレエ学校において「こどもバレエ遼寧省派遣事業」として、2006年から田中秀子バレエ研究所の中・高生が研修を行ってきています。その経緯を踏まえ、崔凱副主席より、両校生徒による初めての合同公演を行う提案があり、この画期的な試みは実現の運びとなりました。

2部構成からなる舞台では、クラシックバレエの他、遼寧バレエ学校生による中国舞踊を織り混ぜた多彩な演技が繰り広げられ、観客を魅了しました。

中でも第一部最後の演目、「バレエ風采(日中共同制作)」では、両国の生徒が一緒に出演。国や言葉が違っても、同じ志を持つ青少年たちの熱いステージに、場内からは温かい拍手が沸き上がっていました。

公演以外では、両国の子供たちの無邪気な一面も垣間見られましたが、その中にもバレエを追求し、真摯に向き合う生徒たちがこれからも交流し互いに刺激し、一層向上していく姿が目に見え、改めて芸術文化交流の大切な意義を感じました。

とやま舞台芸術祭2010

9月20日(祝)、利賀芸術公園・新利賀山房にて「とやま舞台芸術祭2010 洋舞公演 DEEP IMPRESSIONS」(プロデューサー・可西晴香)を開催しました。

第1部は、可西舞踊研究所の生徒たちによる小品集「ときめいてダンス」、第2部は、シュテファン・ツァプコ氏監修、プラハ芸術大学非言語学科の学生5名による「パントマイム フロム プラハ」と題したパントマイム作品を上演。タップダンスとパントマイムが融合した新しいマイムパフォーマンス

スは観る人の心を一瞬にしてつかみ、魅了しました。

続いて、第3部では、可西舞踊研究所の皆さんらによる「オルフェウスの恋になった妻ユリディス」(可西晴香演出・振付・主演)が上演されました。この作品は、ギリシャ神話「オルフェ」を現代風にアレンジしたもので、故可西希代子氏の振付作品を可西晴香氏によって再構成された改訂版です。

9月26日(日)、利賀芸術公園・新利賀山房にて「とやま舞台芸術祭2010 詩吟剣舞公演」(プロデューサー・伊藤天水)を午前・午後の2回行いました。第1部は「ふるさと・師弟・郷土愛」がテーマの詩吟剣舞。第2部は、黒川真理氏の邦楽グループ「幸鳥」による「三曲 SORANBUSHI」、「証城寺のスケルトン」の箏演奏、第3部は「自然・家族・親子愛」と題した詩吟剣舞の3部構成。県内の渋川流剣舞の皆さんを中心に

したしなやかで力強い演舞と吟詠、古典と現代が融合した箏曲の調べは、来場者の心に深く響きました。また、県外(福井・三重)からの招待演舞2演目も披露されました。



こどもバレエ遼寧省派遣事業

8月4日(水)〜16日(月)、利田みさき団長率いる田中秀子バレエ研究所の中・高校生15名を、中国・瀋陽市の遼寧バレエ学校に派遣しました。中国3大バレエ団のひとつ遼寧バレエ団の附属校である同校で、バレエ学校のすぐれたメソッドを体験するこの研修は今回で4回目となりました。継続して研修を続けることで交流の深まった今回は、

初めての試みとして富山の研修生と遼寧バレエ学校の生徒との合同公演(8月14日(土)「中日少年バレエの夏」於瀋陽市)も開催され、現地の観客からの熱い拍手が研修生たちの何よりの励みになったようです。また、8月25日(水)、26日(木)には、「とやま舞台芸術祭2010」として富山でも合同公演が開催されました(1P掲載)。

遼寧バレエ学校との初のコラボレーション



8月14日(土) 遼寧バレエ学校ホールにて

第9回国際友好美術交流展

本年度第9回目となる国際友好美術交流展は、ハンガリー・ハイドゥービハール県のデブレツェン市で行われました。また今回は2009年富山で行った「とやま国際アートキャンプ」にならない、展覧会に先立って国際アートキャンプも同市で開催され、富山からは展覧会、キャンプともに美術関係者が参加しました。

7月1日(木)～13日(火)、デブレツェン市郊外で行われた「デブレツェン国際友好美術キャンプ」には、洋画家の藤井武氏(泉洋画連盟委員)と、吉川信一氏(泉洋画連盟前委員長)が参加。ハンガリー、中国、日本の3か国からの参加者が寝食を共にして制作に励み、交流を深めました。

キャンプの終了後、7月14日(水)には「第9回国際友好美術交流展」がデブレツェン市・クルチェ・センターで開催。富山33点(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)、ハンガリー58点、中国30点の美術作品が一堂に会し、その国際色溢れる展示は現地の人々の眼を惹きつけていました。

また展覧会にむけ、吉田泉氏(芸文協副会長・特命統括)、萩中幸雄氏(県美術連合会長・洋画家、



砂子阪政巳氏(県日本画家連盟委員長)、高橋鐵夫氏(県写真連盟委員長)、勝山正野氏(北陸書道院常任理事)が現地に赴き、展覧の開会式に参加したほか、芸術・文化関連施設の視察や現地美術家達との交流を行いました。滞在中にハイドゥービハール県庁で行った記者会見では、ソーラート・テイポール副知事から富山と同県との交流の重要性や未来へのビジョンも現地記者に説明され、実り多い派遣となりました。

また、7月30日(金)には、ハンガリー側の要望により、吉田副会長が川端康成について、デブレツェン大学において講演されました。

第16回富山県いけばな公募展

第16回富山県いけばな公募展が、7月17日(土)・18日(日)の2日間にわたり、富山県民会館地下展示室にて開催されました。

県内の流派を代表する華道家252名と一般公募50名による力作262点が流派の垣根を越えて一堂に会しました。

会場には季節を彩る花々を豊かに使った作品が展示され、さわやかな涼を呼んでいました。5000名を越える来場者たちは、個性

あふれる作品に見入っていました。

開会式では、酒井和佳子実行委員長、東海龍北日本新聞社取締役事業局長のあいさつ、村椿晃県生活環境文化部長の祝辞ののち、小泉博芸文協会会長より一般公募の中から次の5名の方々に奨励賞と記念品が贈られました。

【奨励賞】(敬称略)

- 高田 茜 鎌田 倫子
- 須藤 梨沙 余川 栄万
- 市田 優子



日韓友好交流事業

「江原道大関嶺国際音楽祭」派遣事業

8月8日(日)から8月11日(水)まで韓国・江原道東海市で開催された「江原道大関嶺国際音楽祭」に、黒川真理氏、黒川雅皓氏ほか6名の黒川邦楽院の演奏者と、市井和彦芸文協事務局局長を派遣しました。

この派遣事業は芸文協と友好提携を結んでいる江原道藝術文化団体総連合会からの招待を受け実現。崔池洵会長より手厚いおもてなしを受けました。8月9日(月)午後7時半より武陵溪谷野外公演場で行

われた公演では、現地江原道の音楽団体の演奏に引き続き黒川邦楽院が出演、黒川真理氏の箏独奏「蘭拍子」と合奏「黒田節」による幻想曲」を披露しました。美しい和服に身を包んだ演奏者たちの高いレベルの演奏は、地元の観客らから喝采を浴び、高い評価を受けました。出演者たちは、日本文化への理解と両国の友好親善を行うという今回の事業の目的をしつかりと果たし、帰国しました。



第35回 富山県青少年美術展

光る若い感性

第35回富山県青少年美術展は9月11日(土)から14日(火)までの4日間、富山県民会館の美術館、地下展示室、ギャラリーABCにおいて開催されました。

絵画、彫刻、工芸、デザイン、書、写真の6部門に若々しい感性が光る力作1、600点の応募があり、入賞・入選作品の944点が一堂に展示されました。

11日(土)の開会式は増山理恵さんのフルート演奏から始まり、尾畑満理奈さんの司会で進められ、この美術展に寄せられた富山高校2年野原健矢さんの詩が横田ほの華さんによって朗読披露されました。また、午後3時から県民会館401号室で浅地豊富山県水墨美術館副館長による「美の表現は十八十色」と題した美術講座が開かれました。

入賞した主な作品は、新川文化ホールで開催された「県民芸術文化祭2010」の生活文化展でも展示されました。



県民芸術文化祭 2010

9月18日(土)から20日(祝)までの3日間、新川文化ホールにて「県民芸術文化祭2010」が開催されました。

初日のオープニングフェスティバルは、魚津蟹気楼太鼓の迫力あるパフォーマンスで始まり、伝統芸能、日本舞踊、民謡、洋舞、詩吟、長唄・お囃子、声楽、合唱、吹奏楽など華やかで躍動感あふれるステージが繰り広げられました。

開会式典では、県部門功労(文化分野)の表彰式が行われ、伊藤天水氏、内山太一氏、桂博子氏、

ハンガリー・ 美術工芸学校派遣事業

9月25日(土)から10月9日(土)の日程で、ハンガリー・ハイドゥービハール県デブレツェン市の「コーシユ・カロイ美術工芸学校」に、木彫工芸作家の川原和夫氏、金属工芸作家の六家敬吉氏を講師として派遣しました。

昨年9月「ハンガリー・デー開催事業」の際に来県した同県のソラート副知事より、富山の優れた工芸作家を招きたいという依頼があり実現したこの派遣は、今回が初の試み。富山の高い技術レベ

ルの美術・工芸をハンガリー現地
でより知ってもらうとともに、交
流の更なる発展を目的として行わ
れました。

プロを目指し同校で学習する14
歳から19歳の若者た
ちを対象に、川原氏
はフクロウの木彫と
木製ペンダントの製
作を、六家氏は錫鑄
造によるペーパーウ
エイトの製作を、8
日間にわたり指導。
生徒たちは初めての
体験に当初は戸惑っ
ていたものの、授業

日本宗志氏、中川雅風氏、富士原
文以千乃氏、吉村邦子氏の7名と、
田中秀子バレエ研究所に表彰状と
記念品が贈られました。
また、国際交流公演では、プラ
ハ芸術大学非言語学科の学生5名
による「リズム&マ
イム」を上演しまし
た。パントマイムと
タップダンスを融合
した新しくかつ洗練
されたマイムパフォ
ーマンスは、会場を
埋め尽くした観客を
惹きつけました。
生活文化展は、県
内15流派と一般公募



を重ねることに徐々に慣れ、作品
を完成させると、今後の学習に役
立てたいと、うれしそうに抱負を
語ってくれたそうです。

平成22年度

（社）富山県芸術文化協会 表彰式

― 特別功労者表彰及び感謝状・奨励賞贈呈式 ―

平成22年度の芸文協表彰式は、11月1日(月)、午前10時30分から、富山県民会館304号室で、来賓として新川稔富山県生活環境文化部部长、中沖豊芸文協最高顧問ほかの臨席を得て、挙行了しました。

特別功労者表彰は、これまで金属工芸を通して富山県の芸術文化活動にご貢献いただいた故・大角勲氏に贈られました。

また、併せて、感謝状（15名）、奨励賞（ジュニア奨励賞含む27名）



の贈呈を執り行いました。受賞された方々は次の通りです。

（社）富山県芸術文化協会表彰

（敬称略）

◎特別功労者表彰

（故）大角 勲

◎感謝状

岡崎 喜水 野越 康壽
池谷 新月 金江 宗文
中川 宗亮 宮永 圭子
杵屋弥三書美 稀家 寛代澄
黒崎 隆憲 西川扇城緒
西川扇博貴 辻 孝子
尾畑由起子 武田 優子
船崎 由美

◎奨励賞

東山 香雪 村松 雅奈
森清 篤実 小坪 裕子
増山 理恵 岸本 美佳
尾崎俊太郎 藤川 未央
藤間紗枝乃 高野 仁
田知本凛岳 齊藤 舞月
本田麻優美 上田早利巳
島 ななみ 波岡ふじ恵
利田 由未 伊藤麻菜実
松井 翔子 中島 由貴
相川 翔子 黒澤 里紗
網 彩音 横田ほの華
◎ジュニア奨励賞
松本奈菜花 五十嵐 茜
川西 美穂

第33回富山県子どもフェスティバル

― 写真部門新設・海外創作童話参加 ―

今年で第33回目を迎えた富山県子どもフェスティバルは、11月6日(土)〜8日(月)にわたり、富山県民会館で開催されました。今回から展示部門に「写真」が新設され、子どもたちがチャレンジできる分野が広がりました。初回となる今回は、43点の応募があり、その他児童画385点、書786点、童画6点、創作童話部門は74点の応募があり、子どもたちの意欲あふれる作品が会場いっぱいに展示されました。

また、このたび、ハンガリー、韓国江原道の子どもたちから創作童話5作品が特別に寄せられました。習慣や文化が異なる外国の子どもたちが作った童話は、富山の子どもたちの良い刺激となりました。

招待。中国の子どもたちは、自転車を使った曲芸や柔軟技などアクロバティックな雑技を披露しました。終演後には、8演目の雑技で会場を沸かせた瀋陽民族芸術学校芸術団の各人と瀋陽民族芸術学校に優秀賞が、また、県内の出演者の中から19名に奨励賞が芸文協小泉会長より贈呈されました。なお、受賞者は次のとおりです。

〔奨励賞〕受賞者（順不同敬称略）

堀井 星来 藤森 円香
土肥 栞 小幡 桃子
天池 琴実 桂井 優依
平野 裕子 寺沢奈緒子
谷澤 彩花 斎藤 一実
杉江 華奈 杉江 真弥
西野 華世 小坂井晴名
中村 優華 松本 実紗
升田 寛子 島田 恭歌
増山 喜朗



平成22年度県民ふれあい公演

9月から11月にかけて、「平成22年度県民ふれあい公演」を開催しました。

.....

9月16日(木)の公演は、富山市立針原小学校で行われ、第一部は、大正琴ミズキがポップスの曲を軽快なリズムで演奏。第2部では、とやまレディース・オーケストラ

OASISが「アイネ・クライネ・ナハトムジーク第一楽章」(モーツァルト作曲)やデイズニー映画「アラジン」の曲などを演奏しました。

こどもたちに馴染みのある曲もプログラムに組み込まれ、曲が流れると楽しそうに見入っていました。



9月16日 富山市立針原小学校

9月30日(木)に富山市立新庄北小学校で行われた公演では、ハープ

ト、ヴァイオリン、ハープによる演奏で、ワルツから「赤とんぼ」や「こきりこ」などの民謡まで幅広いジャンルの曲を披露し観客らを魅了。第2部は、歌澄奏ミュージカル劇団がエーデルワイスやドレミのうたのメドレーなど、身近で親しみやすい曲でなめらかな歌声を披露しました。

10月15日(金)は、富山市立音川小学校で合唱と洋楽の公演を行いました。第一部は、大地の会による四季の歌メドレーから「どこかで春が」、「さくらさくら」などを披露し、澄んだ歌声に観客らは聞き入っていました。第2部は、レディース・カルテットOASISが出演。「愛のあいさつ」(エルガー作曲)などのクラシックをはじめポピュラーな曲を披露。みんなで歌おうと題した大地の会とレディース・カルテットOASISの合同演奏「手のひらを太陽に」では、こどもたちが一緒に歌うなど、和やかな公演となりました。

10月22日(金)、クロスランドおやべイメインホールで行われた公演では、黒川真理氏の箏演奏「關拍子」で始まり、可西舞踊研究所のメンバーによる演目「The Green Door」や「富山に伝わる三

つ」の民謡、箏と尺八 律による邦楽演奏を披露。可西舞踊研究所と箏と尺八 律の舞踊と邦楽のコラボレーションでは、「こきりこの風」を邦楽の優雅な調べにのせて、華麗な舞いが披露され、来場した石動高校と小矢部園芸高校の生徒たちは幻想的な舞台上に惹きつけられていました。



10月22日 クロスランドおやべ

11月4日(木)、5日(金)の公演には、中国、遼寧省から来日した、鞀佩堂団長率いる瀋陽民族芸術学校芸術団が出演し、こどもたちによる中国雑技の演技を披露してくれました。

4日(木)富山市立奥田中学校での公演では、雑技の演技に続き洋楽の廣瀬大悟氏(トロンボーン)と池原陽子氏(ピアノ)が出演。軽快な音楽を楽しむとともに、生徒たちは同年代の中国の生徒たちの卓越した演技力に驚き、親しげに「ニハオ」と話しかけるなど国境を超えた生徒たちの交流の場にもなりました。

5日(金)午前10時から富山市立中央小学校で、雑技と詩吟剣舞(渋川流剣詩舞道 聖慧会、富山県壮吟会、富山岳風会)の公演を行いました。児童は雑技の超人的な技を間近で観て大きな歓声を上げ、また、荘厳な詩吟剣舞の世界を体感していました。いずれも小学生にとつて貴重な体験となったことでしょう。

同日午後1時半からの黒部市にいかわ総合支援学校での公演は、雑技と洋楽のプログラム。スリリングかつ芸術的な雑技の演技に会場は熱気に包まれ、堺谷亜希子氏(パーカッション)と佐々木ゆき子氏(ピアノ)の演奏では、こどもたちが楽器に触れ、身体を動かす参加型の曲目もあり、皆のいきいきとした表情が印象的でした。

11月10日(水)の公演は、富山市立月岡中学校で開催。第一部は、坂井雅千社中による箏演奏。第二部は、富山県日本舞踊協会による「玉兎」や「連獅子」などを上演。雅な音色と優美な舞いにこどもたちは、真剣に見入っていました。また、「六段の調べ」では、邦楽と日舞のコラボレーションも披露しました。

11月11日(木)の黒部市田家保育所では、内山太一氏(声楽)、内山節子氏(ピアノ)による公演が行

われました。こどもたちは、歌を口ずさんだりリズムに乗って身体を動かしたりと楽しい時間を過ごしました。



11月11日 黒部市・田家保育所

今後のふれあい公演の予定は、11月25日(木)高岡市立二塚小学校で水谷佳代社中(邦楽)、横内桂子(ヴォーカル)、黒田真琴(オーボエ)、大橋俊希(ギター)(洋楽)が出演。26日(金)は、富山市立東部小学校において、渋川流剣詩舞道聖慧会、富山県壮吟会、呉山岳風会、富山岳友会、富山県日本舞踊協会、富山県邦楽協会が出演。

また、来年の1月22日(土)は、高岡市特別養護老人ホームのむら藤園苑において、富山県立高岡工業高校吹奏楽部が公演。2月20日(日)には、小矢部市立津沢小学校を会場に、なんと！吹奏楽団による公演が開催される予定です。皆さまのご来場をお待ちしております。

平成22年度

芸術文化指導者招へい事業

(邦楽・オーケストラ・日舞・洋舞)

今年度の「芸術文化指導者招へい事業」は、7月31日(土)の邦楽部門ワークショップを皮切りにスタートしました。



(邦楽部門)川村泰山先生

邦楽部門のワークショップ(プロデューサー「瀬尾雅臣」)は、講師に川村泰山先生をお招きし、7月31日(土)、8月1日(日)は、北日本新聞 創造の森 越中座で、また、9月10日(金)と11日(土)は、富山県民会館練習室にて行いました。川村先生の熱い指導のもと、受講者らは「山河彩霞」、箏・十七弦・



(オーケストラ部門)小山貴之先生

尺八三重奏「碧」などを演奏し、邦楽の高度な演奏法を学びました。7月31日(土)、8月1日(日)に富山市民芸術創造センター、アイザック小杉文化ホール ラポールで行われた、オーケストラ部門のワークショップ(プロデューサー「小澤眞琴」)は、ヴィオラ奏者の小山貴之先生をお迎えして開催しました。集まった管弦楽団員たちは、弦楽器の演奏技術だけでなく、合奏に対する姿勢についても学び、練習に励みました。

8月21日(土)と22日(日)の2日間、講師に飯坂信広先生をお招きし、富山県民会館において日本舞踊のワークショップ(プロデューサー「花川吉蝶」)を開催しました。飯坂先生には、日本舞踊の舞台や小道具に関して丁寧にお話しして頂き、県日本舞踊協会会員をはじめとする参加者らは、メモを取り熱心に聞き入っていました。



(日舞部門)飯坂信広先生

9月21日(火)、22日(水)に行われた洋舞部門ワークショップ(プロデューサー「松下美規」)は、プロ

ハ芸術大学でパントマイムを指導しているシュテファン・ツァブコ先生をお招きし、身体を使った感情の表現を教えて頂きました。指導を受けた富山高校、高岡第一学園、片山学園の生徒や県洋舞協会のメンバーは、いきいきとした表現で「身体で表現する」ことの楽しさを学んでいました。



(洋舞部門)シュテファン・ツァブコ先生

坂本和彦先生をお迎えしてのオーケストラ部門のワークショップ(プロデューサー「小澤眞琴」)は、富山市民芸術創造センターを会場に10月23日(土)、24日(日)の2日間行いました。坂本先生は、受講者の管弦楽団員たちに、個人のレベルを上げるとともに楽団のレベルの向上を目指すよう指導され、受講

者は、個々人が曲を創り上げる大切さを感じつつ真剣に演奏していました。



(オーケストラ部門)坂本和彦先生

訃報

芸文協理事の島田幸男先生が7月19日にご逝去されました。

先生は、富山県の芸術文化の振興と発展や芸文協の事業に対して多大なご貢献をされました。

ここに深く感謝いたしますとともに、ご冥福を心からお祈りいたします。

もよおしの記録と案内

富山県立富山いずみ高等学校
第45回富山いずみコンサート
(吹奏楽)
9月5日(日)

オーバード・ホール
第22回グランパバ・ママありがとう
絵手紙展
9月10日(金)～9月12日(日)

大谷芸術交流館
第34回豊昌会書展
9月17日(金)～9月20日(祝)

富山県民会館美術館
第22回大正琴の集い「大響宴」
9月23日(祝)

富山県民会館ホール
第21回富山玄潮会書展
9月23日(祝)～9月26日(日)

富山県民会館ギャラリーC
富山県ピアノ指導者協会創立25周年記念 第3回TPAピアノフェスティバル&会員によるガラコンサート
9月26日(日)

オーバード・ホール
日本ハープ協会北陸支部会員による「ハープの響宴X」
10月2日(出)

サンフォルテ
第27回富山あざみ女声合唱団定期演奏会
10月9日(土)

北日本新聞ホール
第18回富山岳友会吟道大会
10月17日(日)

富山県教育文化会館
平成22年度「秋の北國宝生能」
10月17日(日)

石川県立能楽堂
第42回 北陸雪心会書展
10月22日(金)～10月24日(日)

富山県高岡文化ホール3階

富山県壮吟会
第23回 温習発表吟道大会
10月24日(日)

富山県教育文化会館
男声合唱団K&クルー 第32回演奏会
11月3日(祝)

富山県民会館ホール
総合カレッジSSEO JAPAN WEEK2010 ポルトガル海外公演壮行会
11月3日(祝)

砺波出町子供曳山会館
第15回書燈社書作展
11月5日(金)～11月7日(日)

富山県高岡文化ホール3階
とやま芸術パーク祭2010
11月6日(土)～11月7日(日)

富山市民芸術創造センター
第22回富山県高等学校文化祭
11月7日(日)

新川文化ホール
11月13日(土)～11月15日(月)

富山県民会館・高岡市民会館
第9回コロ・ピアノ・チェ定期演奏会「移りゆく季節に寄せて」
11月14日(日)

富山市民プラザ
アンサンブルホール
第17回
秋を彩る北日本いけばな展
11月20日(土)～11月21日(日)

新川文化ホール・展示ホール
大川都バレエ教室
第29回発表会
11月21日(日)

新川文化ホール
TSUKEMEN LIVE
2010
11月26日(金)

富山県教育文化会館

日本新工芸富山会展
12月1日(水)～12月7日(火)

富山太和店5階アートサロン
齊藤清策遺作展
12月4日(土)～1月23日(日)

松村外次郎記念 庄川美術館
木野雅之ヴァイオリンリサイタル
with ジャスタ・イントヤマ・ジュニア
12月6日(日)

富山市民プラザ
アンサンブルホール
第36回金沢美大出身作家けやき展
12月11日(土)～12月14日(火)

富山県民会館美術館
富山大学フィルハーモニー管弦楽団 第51回定期演奏会
12月18日(日)

富山県民会館
Open the BOX
12月19日(日)

富山市民水橋ふるさと会館
相山ホール
田添等楊絵画展
12月22日(水)～12月26日(日)

富山県民会館ギャラリーB・C
「平成22年度スームアップ!」郷土の音楽家コンサート
富山の四季で綴る美しい日本のうた
12月23日(祝)

富山県高岡文化ホール 大ホール
第九交響曲「歓喜の夕べ」2010
12月25日(出)

オーバード・ホール
遊人企画ノジヨソジ公演「賢者は不惑とのたまえり」
1月8日(土)～1月9日(日)

富山県民小劇場 オルピスヴェルティ
オペラ「椿姫」2011
1月23日(日)

新川文化ホール 大ホール

富山シティフィルハーモニー管弦楽団 TCCファミリーコンサート
2月6日(日)

オーバード・ホール
劇団P.O.D.第36回公演「蠅取り紙」
2月12日(土)～2月13日(日)

高岡市生涯学習センター・ホール
「平成22年度スームアップ!」郷土の音楽家コンサート「事業オペラで綴る美しい日本のうた」
2月18日(金)

富山県民会館 大ホール
「平成22年度スームアップ!」郷土の音楽家コンサート「事業オペラで綴る美しい日本のうた」
2月20日(日)

新川文化ホール 大ホール
合唱団「楽音樹」
First Concert
3月12日(土)

富山市民プラザ
アンサンブルホール
ジャパン・ストリング・クワルテット 名曲コンサート
3月18日(金)

富山市民プラザ
アンサンブルホール
第28回富山県青少年音楽コンクール
3月19日(土)～20日(日)

北日本新聞ホール
北日本新聞ホール
第28回富山県新人演奏会
3月20日(日)

北日本新聞ホール
第25回 フレッシュユアアーティストコンサート
3月22日(火)

北日本新聞ホール

グラウンド・ミュージカル「回転木馬」
3月25日(金)～3月27日(日)

オーバード・ホール

およびの人々

(平成22年9月以降受賞順・敬称略)

富山県部門功労(文化分野)表彰

- 伊藤 天水 内山 太一
- 桂 博子 木本 宗志
- 中川 雅風 室原文子乃
- 吉村 邦子
- 田中秀子バレエ研究所

第42回日展

文部科学大臣賞 横山 豊介

特選 斎藤 晴之

特選 小西 徳泉

北日本新聞文化賞 中尾 哲雄

文化賞 藤森 兼明

文化賞 中尾 哲雄

富山県功労表彰 黒瀬 越嶺

喜多野 瑛 土井 治美

坂田 三男 吉澤 孝

ふるさと教育とやま賞 平田 純 長井 眞隆

瑞宝小綬章 館 聖

地域文化功労者文部科学大臣表彰 濱谷 芳仙